

第20週の発生動向 (2005/5/16~2005/5/22)

1. 咽頭結膜熱は、むつ保健所管内において引き続き**警報**が出されています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、弘前保健所管内において引き続き**警報**が出されています。
3. 伝染性紅斑は、青森保健所管内において引き続き**警報**が出されています。

第20週五類感染症定点把握

保健所名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ	20	1.54	42	2.63	10	0.71	20	2.86	4	0.44	3	0.50	99	1.52	-27
(60) 咽頭結膜熱	2	0.25							2	0.33	5	1.25	9	0.21	1
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	3.13	28	2.80	2	0.22	6	1.20	9	1.50	1	0.25	71	1.69	-2
(62) 感染性胃腸炎	43	5.38	25	2.50	11	1.22	3	0.60	12	2.00	31	7.75	125	2.98	-19
(63) 水痘	13	1.63	10	1.00	11	1.22	7	1.40	7	1.17	3	0.75	51	1.21	-22
(64) 手足口病			2	0.20	11	1.22			2	0.33	1	0.25	16	0.38	5
(65) 伝染性紅斑	20	2.50			1	0.11			1	0.17	1	0.25	23	0.55	-4
(66) 突発性発しん	4	0.50	10	1.00	2	0.22	1	0.20	7	1.17	4	1.00	28	0.67	13
(67) 百日咳															0
(68) 風しん															-1
(69) ヘルパンギーナ	2	0.25	1	0.10					3	0.50			6	0.14	3
(70) 麻しん(成人を除く)											1	0.25	1	0.02	1
(71) 流行性耳下腺炎	3	0.38			4	0.44	3	0.60	9	1.50			19	0.45	2
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎					1	0.50	1	1.00					2	0.18	-3

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	13	8	5	2	1
弘前	16	10	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

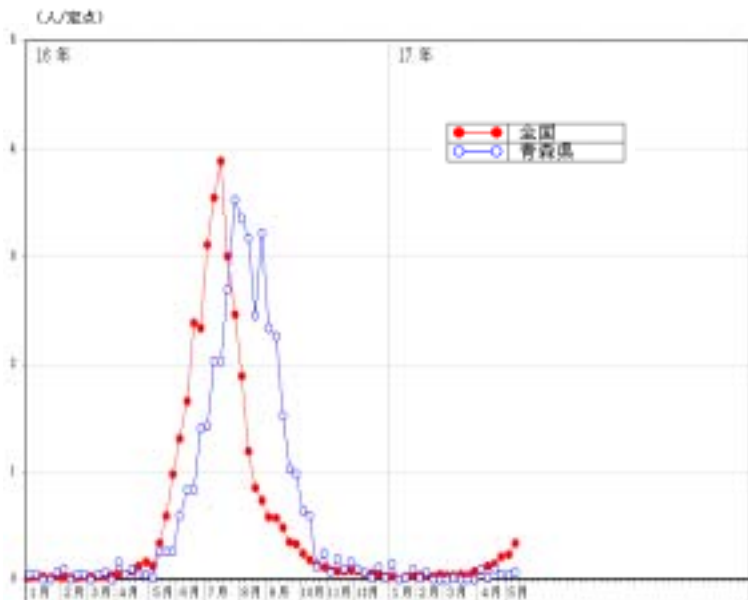
は警報
 は注意報
 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

- (82) マイコプラズマ肺炎 (五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内: 2人 (17年計 40人)
 (51) 後天性免疫不全症候群 (五類全数把握疾患) 青森保健所管内: 1人 (17年計 7人)

感染症の窓

ヘルパンギーナ



全国的に患者報告数が増加傾向にあります。

本県では、例年6月~7月にかけて患者報告数が急増しますが、今年もその兆しがありますので今後の動向に注意が必要です。

疫学状況: 幼児、特に1~4歳が好発年齢です。

病原体: コクサッキーA群2・4・6・8・10型ウイルスが多く、まれにコクサッキーB群やエコーウイルスでも発症します。

臨床症状: 38~40の発熱で発症し、同時に咽頭痛を訴えます。また、軟口蓋中心に、直径2~4mmの小水疱または浅い潰瘍が認められます。

感染経路: 急性期は口腔からの飛沫による感染が多く、また、便から手を介しての間接的経口感染もみられます。

予防法: うがいや手洗いを励行してください。